



吉見 大 議員

人口減少下における文化資源を活用した地域ブランディングと持続可能な財政運営について

市民劇など文化資源を地域ブランディングの資源として位置付ける考えはあるのか

文化・伝統などの地域固有資源は、本市の将来を切り拓く価値創造の源泉となりうるものと考えます

本市の将来を切り拓く価値創造の源泉となりうるものと考えます。

答 教育総務部次長

人口減少と少子高齢化が進む中、本市の財政状況は今後さらに厳しくなることが見込まれる。自治体運営は「何を削減するか」という議論に傾きがちであるが、本市が何を価値として未来に残すのかという視点も重要であると考え

問 高島市市民劇は、約20年にわたる継続実績、世代循環、人材育成効果等の観点からどのように評価しているのか。

20年にわたり継続する中で、人的なつながりを育むとともに、多様な文化団体の参画により分野を越えた協働の場として機能してきた点も、人材育成や地域文化の担い手づくりにつながってきたものと受け止めています。また、地域の歴史や物語を舞台芸術として共有することにより、郷土への理解や愛着を深める契機となってきたことなど、その果たした役割は大きいものと考えています。

問 人口減少時代においては、自然や観光だけでなく「人」と「文化」も地域の大切な資産である。市民劇のように長年継続し市民が主体となる文化活動を、地域ブランディングの資源として位置付ける考えはあるのか。

本市が有する豊かな自然環境、長い歴史の中で培われてきた文化・伝統などの地域固有資源は、他の地域では決して代替することのできないものであり、単に保存・継承すべき対象としてだけでなく、

答 政策部長

市内には演劇に限らず長年にわたり継続して活動されている多様な文化活動や、地域において継承されてきた伝統行事や歴史遺産などの多様な文化資源もあり、本市の将来を切り拓く価値創造の源泉となりうるものの一つであると捉えています。

問 市民劇のように長年継続、多世代参加、市民主体という特徴を持つ文化活動を地域ブランディングの資源としてどのように認識しているのか。

答 政策部長

市内には演劇に限らず長年にわたり継続して活動されている多様な文化活動や、地域において継承されてきた伝統行事や歴史遺産などの多様な文化資源もあり、本市の将来を切り拓く価値創造の源泉となりうるものの一つであると捉えています。